



平成30年7月23日
十日町市文化財課

**十日町市指定文化財「旧村山家主屋・表門」(大棟山美術博物館)
展示室リニューアルと無料休憩スペースの開設について**

十日町市指定文化財「旧村山家主屋・表門」(大棟山美術博物館として公開)は、豪雪地の特別な農家建築として歴史的価値が高く、新潟出身の作家坂口安吾との縁が深いことでも知られています。この文化財を活用し、歴史的建造物の空間を生かして地域の歴史文化を発信する事業を下記のとおり実施します。

- 1 期間 平成30年7月29日(日)から9月17日(月)まで(大地の芸術祭期間中)
- 2 会場 十日町市指定文化財「旧村山家主屋・表門」(大棟山美術博物館)
(十日町市松之山1222番地 電話025-596-2051)
- 3 事業内容
 - (1) 歴史的建造物の空間や庭園の景観をより楽しめるよう展示室をリニューアル
 - (2) 上記期間中は、涼しい古民家で一息ついていただける無料の休憩スペースを開設、あわせて地域の歴史文化などを情報提供
 - (3) 「松之山朗読の会」による十日町の民話の朗読イベントの開催
(開催日は添付のチラシを参照してください。)
- 4 その他
大棟山美術博物館への入館は有料(大人500円、小・中・高校生300円)となります。
※大地の芸術祭2018期間中はパスポートの提示で100円割引
ただし、休憩所の利用、朗読イベントへの参加は無料です。
- 5 添付資料 チラシ

■お問合せ先

十日町市教育委員会文化スポーツ部 文化財課
担当：村山 ☎025-757-5531



夏が来たら
あつぱつぱと
浮く綿のような
雲を見るとき
いそいそと
にはぐれぬ
にげぬ

坂口安吾「黒谷村」

戦後「墮落論」を発表して一躍時代の寵児となった新潟出身の作家坂口安吾は、十日町市松之山の旧家・村山家に安吾の叔母と姉が嫁いだ縁で松之山をたびたび訪れ、「黒谷村」を始めとした小説の舞台としても松之山を登場させました。

若き日の安吾が過ごした旧村山家主屋・表門(十日町市指定文化財)は、今も当時のまま、ひっそりと時を刻んでいます。

200余年もの間豪雪に耐えた歴史ある家で、この夏、心やすらぐ静寂のひとつを過ごしてみませんか。

十日町市指定文化財
旧村山家主屋・表門(大棟山美術博物館)
撮影:坂口綱男



表門に続く杉並木



安吾の部屋(展示室)



二階から庭を望む

展示室をリニューアル。 歴史ある建造物の空間をより楽しめるようになりました。

旧村山家主屋・表門は、「大棟山美術博物館」として一般公開しています。(有料)
大地の芸術祭期間中(平成30年7月29日~9月17日まで)は、無料休憩スペースを開設。
夏でも涼しい古民家で一息ついていただけます。松之山の歴史文化など、地域情報も提供します。

■イベント開催情報

松之山朗読の会による「十日町の民話」

平成30年8月4日(土)、10日(金)、21日(火)、24日(金)、26日(日)、9月5日(水)、8日(土)、12日(水)
(いずれも午前10時~11時開催) ※イベントの参加は無料です

大棟山美術博物館 Daitohzan Art Museum 坂口安吾記念館

新潟県十日町市松之山1222番地 TEL:025-596-2051 [開館時間]午前9時~午後4時 [休館日]なし(冬期積雪期間休館)
[入館料]大人500円 小・中・高校生300円 ※大地の芸術祭2018期間中はパスポートの提示で100円引き

松之山の歴史・文化探訪

日本三大薬湯「松之山温泉」

松之山温泉は、室町時代には越後守護上杉家の隠し湯であったという説もあり、薬効の高さから、有馬・草津と並び日本三大薬湯と呼ばれています。また、「凌雲閣松之山ホテル」の昭和12年に建てられた木造三階建の「本館」は、国登録有形文化財です。（外観を眺めていただくことは可能です。）



大蔵寺高原・天水山麓のブナ原生林

長野県との県境にある天水山の中腹、標高800mに広がる広大な大蔵寺高原。キャンプ場やレストランが完備されています。多くの野鳥が生息し、バードウォッチングに最適。市指定文化財「天水山麓のブナ原生林」の中を歩くトレッキングコースもあり、大自然を満喫できます。県境の関田山脈沿いを歩く信越トレイルの玄関口にもなっています。



坂口安吾と松之山

安吾は、松之山随一の旧家である村山家（現在の大棟山美術博物館）に、叔母の貞と姉のセキが二代続けて嫁いだという縁で、昭和初期に松之山を頻りに訪れていました。安吾の名作「不連続殺人事件」や小説「黒谷村」は、松之山が舞台になったと言われています。

小中一貫校「まつのやま学園」前には県内外の安吾ファンの浄財により建立された「安吾文学碑」がひっそりと佇んでおり、小説「黒谷村」の一節が碑に刻まれています。



美人林・「森の学校」キョロロ

大正末期、木炭にするため伐採した後に一斉に育ったブナ林は、すらりとした立ち姿が美しいことから、「美人林」と呼ばれています。



美人林に隣接する「森の学校」キョロロは、「雪里」を研究し、その宝を活用して地域を創造する、新しいタイプの科学館です。建物自体が大地の芸術祭の作品であり、松之山の自然や文化がアートと溶け合い展示されています。



★十日町市立里山科学館
「森の学校」キョロロ入館料

大人500円

小・中・高校生300円

★開館時間 9:00～17:00

★休館日 火曜日

※大地の芸術祭2018会期中は無休

★お問合せ

025-595-8311

松之山郷民俗資料館

百年以上前に建てられた樺づくりの古民家を移築した歴史民俗資料館です。松之山郷の民具や農具、民俗資料、中世・近世の古文書、黒倉十文字遺跡出土品、文学者坂口安吾の遺品等が展示されています。



★入館料 200円(中学生以下は無料)

★開館時間 9:00～16:00

★開館日(平成30年度)

土・日・月・祝日(8月は火曜以外 開館) ※9/25～休館

★お問合せ 025-596-2041

